

日本分析化学会九州支部

支 部 ニ ュ ー ス

第 38 号 2018 年 8 月

九州支部ウェブサイト  
[http://www.jsac.or.jp/~jsac\\_kyushu/](http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/)

2018 年度 日本分析化学会九州支部  
〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町 1  
佐賀大学理工学部 機能物質化学科

# 支部活動報告

## ❖ 2018年度 第1回常任幹事会 ❖

2018年6月16日(土)、佐賀大学 本庄キャンパス 理工学部9号館6階セミナー室において日本分析化学会九州支部 2018年度第1回常任幹事会が開催されました。議事録は支部ウェブサイトに掲載しております。下記リンクよりご覧下さい。

[http://www.jsac.or.jp/~jsac\\_kyushu/current/18minutes1.pdf](http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/current/18minutes1.pdf)

## ❖ 第31回九州分析化学若手の会 春の講演会 ❖

主催：九州分析化学若手の会、日本分析化学会九州支部

世話人：福岡大学薬学部 巴山 忠

2018年5月19日(土)、福岡大学中央図書館 多目的ホールにおいて、第31回九州分析化学若手の会春の講演会が開催されました。支部長(高橋利幸先生・佐賀大院工)のご挨拶に始まり、以下の4名の先生方に、たいへんわかりやすく興味深い講演をいただきました。

講演終了後、次期2019年(第32回)の春の講演会世話人である森 健 先生(九大院工)と、今夏開催予定の第36回夏季セミナー世話人である北村 裕介 先生(熊本大院先端)から予告があり、引き続き情報交換会を催しました。講演会には84名、情報交換会には19名が参加しました。

### 講師・講演題目

- 生体分析試薬としてのキノンの利用  
(長大院薬) 岸川 直哉 先生
- 同位体希釈質量分析法を用いたヒトインスリン認証標準物質の開発  
(産総研) 坂口 洋平 先生
- 質量分析計を用いた生理活性低分子ペプチドの体内吸収性評価  
(九大院農) 田中 充 先生
- 質量分析を用いた高精度・高感度メタボロミクスの開発  
(静岡県大薬) 水野 初 先生

## ❖ 2018年度 日本分析化学会表彰 ❖

2018年度の日本分析化学会学会賞に九州支部より熊本大学院先端科学研究部 戸田 敬教授が「大気物質の動態を明らかにする分析化学」の業績で、また九州大学大学院工学研究院の片山 佳樹教授が「診断・創薬のため細胞シグナル測定法に関する研究」の業績で選ばれました。

また、奨励賞には、九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 高橋 幸奈准教授が「ナノ領域光貯蔵・局在化システムの設計、高性能と分析科学へ展開」の業績で選ばれました。そして、女性 Analyst 賞には、九州工業大学工学部 佐藤しのぶ准教授が「分子認識を利用した電気化学的バイオセンサの構築」の業績で選ばれました。さらに、「分析化学」論文賞には、九州工業大学工学部 竹中 繁織教授のグループの論文「口腔がんのスクリーニングに関連する hTERT 遺伝子のメチル化検出のための電気化学的ハイブリダイゼーションアッセイ」が選ばれました。

今年度は、受賞者が多く、九州支部の高いアクティビティが示されました。受賞者の皆様の今後の益々のご活躍を期待しております。

## ❖ 2018年度 九州分析化学会賞 ❖

選考委員会による審査の結果、長崎大学生命医学域の黒田 直敬教授が2018年度九州分析化学会賞の受賞者に決定いたしました。受賞題目は「生体成分・医薬品の分析を指向した精密分離・高感度検出法の開発」です。おめでとうございます。

黒田先生には秋の支部講演会での講演をお願い致しますと共に、今後とも、九州支部の発展のためにお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

## ❖ 2018年度 九州分析化学奨励賞 ❖

選考委員会による審査の結果、2018年度九州分析化学奨励賞の受賞者は以下の3名に決定いたしました。おめでとうございます。受賞者の皆さまには今後の発展と共に、分析化学会および九州支部への貢献を期待いたします。また、次年度も会員の皆様からの本奨励賞への積極的な応募をお願いいたします。

## 受賞者・受賞題目

- Nguyen Huu Nghi 君（九州大学大学院生物資源環境学府・博士後期課程3年）  
「Study on the analytical application of matrix-assisted laser desorption/ionization mass spectrometry for visualization of analytes」
- 石井 千春 君（九州大学大学院薬学府・博士後期課程1年）  
「二次元 HPLC-MS/MS を用いる遊離および結合型キラルアミノ酸の精密分析法開発」
- 佐伯 健太郎 君（熊本大学大学院自然科学研究科・博士前期課程2年）  
「大気浮遊粒子中花粉マーカーによる花粉飛散状況の化学的モニタリング」

## ❖ 第55回 化学関連支部合同九州大会 ❖

共催：（公社）日本分析化学会九州支部ほか7化学関連支部  
期日：2018年6月30日（土）  
会場：北九州国際会議場

### 分析化学関係の依頼講演

- 吉留 俊史 先生（鹿児島大学大学院理工学研究科）  
「マレイミドメタノール混合系に観る準静的および不可逆的結晶膜生成過程と構造」
  - 松田 直樹 先生（産業技術総合研究所）  
「高感度分光法による電極溶液界面のその場観察方法の開発」
- プログラム：  
ポスターセッション（分析化学分野 13:40～14:40）  
AC-5-001～AC-5-055）まで計55件  
他のセッション等については、大会ホームページ（<http://godo-kyushu.jp/godo/index.html>）をご覧ください。

2018年度九州分析化学ポスター賞の受賞者は、審査の結果以下の4名に決定いたしました。おめでとうございます。受賞者の皆さまには今後の更なる発展を期待いたします。

- 志賀 為仁 君（九州大学大学院工学府）  
「後修飾に基づく化学修飾サイトの分子デザインに  
応答した単層カーボンナノチューブの多段階フ  
ォトルミネッセンス変調」
- 安松 空良 君（鹿児島大学大学院理工学研究科）

- 「フィリピン、カマリネスノルテ州小規模金精錬地  
域における水銀動態」
- 井上 舞美 君（熊本大学大学院先端科学研究部）  
「小分子を用いた RNA 四重鎖構造の網羅的探索」
- 都田 菜摘 君（九州工業大学大学院情報工学研究  
院）  
「細胞内での核膜の動態解析を可能にする蛍光ラベ  
ル化技術の開発」

## ❖ 有機微量元素分析 JM-11 キャラバン ❖

主催：（株）ジェイ・サイエンス西日本  
期日：平成30年3月26日（月）～27日（火）  
場所：鹿児島大学 機器分析センター 6階  
テーマ：有機微量元素分析装置 JM11 による実試料  
の測定  
参加料：無料  
問合先：（株）ジェイ・サイエンス西日本（Tel：099-  
298-1635 Fax：099-298-1637）担当：若松、  
市

## ❖ 機器分析ワークショップ 2018 in 福岡 ❖

主催：日本分析化学会 九州支部  
協賛：（株）ジェイ・サイエンス西日本、サーモフィッ  
シャーサイエンティフィック（株）、メルク（株）ラボ  
ウオーター事業部  
日時：平成30年6月29日（金）13:30～16:20  
場所：福岡大学 中央図書館 1F 多目的ホール  
【テーマ】

- ① 最新の LC-MS&GC-MS ラインナップの紹介  
講師：松浦秀明（サーモフィッシャーサイエンテ  
ィフィック（株）エレメンタル事業部）
- ② ハイブリッド四重極・オービトラップ質量分析計  
（Q-Exactive™）を用いた高確度な免疫複合体抗  
原の一斉同定  
講師：大山要（長崎大学生命医科学域・薬学系・  
准教授）
- ③ 水は基本！超純水・純水の基礎知識・水質の重要  
性と超純水の使い方のポイント  
講師：米村裕次（メルク（株）ラボウオーター事  
業部）

参加費：無 料  
【問合せ及び申込先】  
（株）ジェイ・サイエンス西日本（TEL：092-611-9161  
FAX：092-611-9165）担当：川上、福嶋

❖ 第36回 九州分析化学若手の会 夏季セミナー ❖

主催：九州分析化学若手の会、日本分析化学会九州支部

期日：2018年7月27日（金）～28日（土）

会場：荒木観光ホテル（熊本県植木市）

内容：分析化学に関する若手研究者間の勉強会、講演

○招待講演1：佐藤 雄介 先生

（東北大学大学院理学研究科）

「RNA・エクソソームの構造的特徴に着目した分子  
プローブの設計と応用」

○招待講演2：加藤 大 先生

（産業技術総合研究所）

「ナノカーボン電極の精密設計による分析対象の多  
様化」

○企業セミナー1：日本ウォーターズ株式会社

「MASS Detector による研究効率の向上と応用範囲  
の拡大」

○企業セミナー2：横河電機株式会社

「細胞を観る。～共焦点イメージャーCQ1で広がる  
アプリケーション」

○九州分析化学奨励賞授与式・受賞講演

○九州分析化学ポスター賞受賞者模範ポスター発表

○一般ポスター発表：（審査の結果、6名の方が九州  
分析化学若手賞（ポスター賞）に選出されました。）

○総会

○情報・意見交換会

世話人：熊本大学大学院先端科学研究部 北村 裕介

7月27（金）～28日（土）の日程で、第36回九州分析化学若手の会 夏季セミナーを荒木観光ホテルにて開催致しました。今年は、28研究室/団体から133名の参加がありました。株式会社同仁化学研究所様、横河電機株式会社様、ヴェオリア・シエネツ株式会社様よりブースを出展頂き、これまでは手持ち無沙汰となっていた休憩中にも興味深いお話を聞くことができました。

1日目は、開会式後、招待講演者の佐藤 雄介先生、加藤 大先生より、分かり易く丁寧な講演を行って頂きました。また、先生方の研究が多大な熱意と努力によって発展して来た経緯などに触れることができ、若手一同、大いにエンカレッジされる内容でございました。座長は、それぞれ勝田 陽介先生（熊本大）、石松 亮一先生（九大）にご担当頂きました。

次に、日本ウォーターズ株式会社様、横河電機株



佐藤 雄介先生



加藤 大先生  
招待講演

式会社様に研究開発動向や開発機器のご紹介を頂きました。基礎からお話頂いたため、初学者でも最先端の情報までフォローすることができました。初めての試みとしてこの企業セミナーを企画いたしました。参加者の皆様より好評を頂きました。

次に、第55回化学関連支部合同九州大会においてポスター賞を受賞された以下の4名の方に模範ポスター発表を行って頂き、活発な議論を行いました。



日本ウォーターズ 寺崎様



横河電機 鈴木様

企業セミナー

聴衆は、質の高いポスター発表を行うための工夫について考える良い機会にもなったようです。

- 志賀 為仁さん（九州大学大学院工学研究院）  
「後修飾に基づく化学修飾サイトの分子デザインに  
応答した単層カーボンナノチューブの多段階フ  
ォトルミネッセンス変調」
- 安松 空良さん（鹿児島大学大学院理工学研究科）  
「フィリピン、カマリネスノルテ州小規模金精錬地  
域における水銀動態」
- 井上 舞美さん（熊本大学大学院先端化学研究部）  
「小分子を用いた RNA 四重鎖構造の網羅的探索」
- 都田 菜摘さん（九州工業大学大学院情報工学研究  
院）  
「細胞内での核膜の動態解析を可能とする蛍光ラベ  
ル化技術の開発」

休憩を挟んでの夕食会では、各研究室の趣向を凝らした愉快的研究室紹介がありました。その後の情報交換会では、夜遅い時間まで、熱い議論がかわされておりまして。また、今年も、ヴェオリア・ジェネッツ株式会社様からのご厚意により、会場で超純



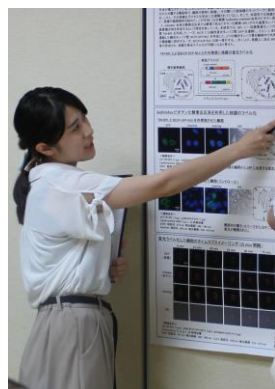
志賀 為仁さん



安松 空良さん



井上 舞美さん



都田 菜摘さん

模範ポスター発表

げて頂きました皆様、ありがとうございました。

2 日目は、朝食後、一般ポスター発表を行いました。今回、63 件の発表があり、参加者全員による審査の結果、以下の 6 名が九州分析化学若手賞（ポスター賞）を受賞されました。若手賞受賞者の皆様、おめでとうございます。

- 嘉村 匠人さん（熊本大学大学院先端化学研究部）  
「RNA 高次構造の形成誘導を利用した遺伝子機能  
解析技術の開発」
- 田島 彩瀬さん（熊本大学大学院先端化学研究部）  
「抗 EpCAM アプタマー修飾金基板へのがん細胞捕  
捉に関する研究」
- 金好 秀馬さん（九州工業大学大学院工学研究院）  
「癌検出のための新規フェロセン化ナフタレンジイ  
ミドの合成と電気化学的性能評価」
- 佐藤 雄大さん（長崎大学大学院医歯薬学総合研究  
科）  
「非酵素的化学発光イムノアッセイ開発を目的とす  
るピオチン導入ナフトキノンの合成」
- 的場 桃子さん（九州大学大学院農学研究院）  
「高圧処理が水中香気成分の安定性に及ぼす影響」
- 本部 大輝さん（九州大学大学院工学研究院）  
「膜タンパク質の高感度検出に向けた蛍光性基質の  
開発」

続いて、九州分析化学若手の会総会を開催し、年間行事と会計について夏季セミナー世話人の北村より報告が行われました。

その後、九州支部奨励賞を受賞された以下の 3 名



九州分析化学若手賞

左から北村（世話人）、嘉村 匠人さん、田島 彩瀬さん、金好 秀馬さん、高椋先生（支部長）、本部 大輝さん、的場 桃子さん、佐藤 雄大さ

水装置による水割をご提供頂きました。会を盛り上





九州分析化学奨励賞受賞

左から Nguyen Huu Nghi さん、石井 千晴さん、  
高椋先生（支部長）、佐伯 健太郎さん

の方による講演を執り行いました。いずれの受賞者  
もさすがと思わせる完成度の高い発表でした。

• Nguyen Huu Nghi さん（九州大学大学院生物資源  
環境科学府）

「Study on the analytical application of matrix-  
assisted laser desorption/ionization mass  
spectrometry for visualization of analytes」

• 石井 千晴さん（九州大学大学院薬学府）

「二次元 HPLC-MS/MS を用いる遊離および結合型  
キラルアミノ酸の精密分析法開発」

• 佐伯 健太郎さん（熊本大学大学院自然科学研究科）

「大気浮遊微粒子中花粉マーカーによる花粉飛散状  
況の化学的モニタリング」

座長はそれぞれ、大平 慎一先生（熊本大）、岸川 直  
哉先生（長崎大）、神崎 亮先生（鹿児島大）にご担  
当いただきました。

今年もベスト質問賞を設けて、学生からの質問を  
奨励したところ、質問時間をオーバーするほどの質  
問が寄せられました。いずれの質問もレベルが高く、  
本心では全員に授与したかったところですが、投票  
の結果、以下の3名が質問賞を受賞されました。ベ



ベスト質問賞受賞者

左から本部 大輝さん、北村（世話人）、  
高椋先生（支部長）、志賀 為仁さん、嘉村 匠人さ  
ん

ベスト質問賞受賞者の皆様、おめでとうございます。

• 嘉村 匠人さん（熊本大学大学院先端科学研究部）

• 志賀 為仁さん（九州大学大学院工学研究院）

• 本部 大輝さん（九州大学大学院工学研究院）

末筆になりましたが、本年度の夏季セミナーの運  
営に際して、九州支部からの助成に加え、加藤科学  
振興会、熊本国際コンベンション協会及び多数の企  
業から助成金、企業セミナー費、展示費、広告費と  
してご支援して頂きました。この場をお借りして御  
礼申し上げます。世話人の不徳の致すところで、見  
苦しいところがありました。大過なく無事セミ  
ナーを終えられたのも一重に講演者、座長の先生方  
ならびにご参加頂いた皆様、そして運営スタッフの  
暖かいご協力あってのものでございます。深く感謝  
申し上げます。来年は、九州大学の田中 充先生がお  
世話をされ、唐津（佐賀県）で開催される予定です。  
多くの方にご参加頂きますよう宜しくお願い致しま  
す。

世話人 熊本大学先端化学研究部

北村 裕介



第 36 回九州分析化学若手の会夏季セミナー 参加者集合写真

## ❖ 第 59 回 分析化学講習会 ❖

**主催** 日本分析化学会九州支部

**共催** 福岡市, 九州先端科学技術研究所 (ISIT), 九州大学学術研究都市推進機構, 日本化学会九州支部, 電気化学会九州支部, 日本薬学会九州支部, 日本食品科学工学会西日本支部, 日本農芸化学会西日本支部, 日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部, 日本臨床化学会九州支部, 日本水環境学会九州支部, 福岡県環境計量証明事業協会

**期日** 8月7日(火)~10日(金)

**会場** 九州大学伊都キャンパス

(〒819-0395 福岡市西区元岡 744)

九州大学馬出キャンパス

(〒812-8582 福岡市東区馬出 3 丁目 1-1)

福岡大学理学部

(〒814-0180 福岡市城南区七隈 8-19-1)

福岡市産学連携交流センター

(〒819-0388 福岡市西区九大新町 4-1)

### 講義と実習

1. ガスクロマトグラフィー (GC): 1 日コース  
8月8日(9:00~17:00) 於九州大学伊都キャンパス

講師:(熊本県立大) 白土英樹, (九大院農) 井倉則之

- A. 化合物の同定(保持指標, マススペクトル)
- B. 定量分析(内標準法)
- C. 試料導入法(スプリット法, スプリットレス法)
- D. 香気成分のサンプリング(固相マイクロ抽出法)
- E. 食品の香気成分分析(GC-MS 法)

2. 高速液体クロマトグラフィー (HPLC): 2 日コース

8月9~10日(9:00~17:00) 於九州大学馬出キャンパス

講師:(九大院薬) 浜瀬健司, (福岡大薬) 巴山忠

- A. 逆相 HPLC の基礎実習と実試料分析(医薬品・化粧品分析)
- B. HPLC 機器の内部構造とメンテナンス
- C. HPLC 用超純水製造装置
- D. 超高速全自動プレカラム誘導体化アミノ酸分析
- E. PDA 検出器の感覚で使用出来る MS 検出器の

### 紹介

F. 逆相モード、HILIC モードを用いた低分子化合物の分離~汎用から最新の高速分析カラムまでのカラム選択~

G. 多次元 HPLC システムによる高分解能分析

H. イオンクロマトグラフィーによる水、大気などの環境分析ならびに各種品質評価

I. 卓上小型 MS 検出器 ACQUITY QDa を用いる新感覚 LC-MS 分析

J. 円二色性検出器を用いたキラル分離

3. 誘導結合プラズマ質量分析法(ICP-MS): 1 日コース(7日, 8日とも同一の内容)

8月7・8日(9:30~17:00) 於九州大学伊都キャンパス

講師:(九環協) 天日美薫

- A. 無機分析に関する基礎
- B. 固相抽出法等による前処理
- C. マイクロピペッターの精度管理とメンテナンス
- D. ICP-MS 法による金属分析及びメンテナンス

4. X線分析(X-ray): 1 日コース

8月10日(9:30~17:00) 於福岡大学理学部

講師:(福岡大理) 栗崎敏, 市川慎太郎

A. X線分析(回折、蛍光X線分析)の基礎に関する講義と測定及びデータの解析

5. 電子顕微鏡分析(SEM/TEM): 1 日コース

8月9日(9:30~17:00) 於福岡市産学連携交流センター

講師:(九大院理) 宇都宮聡

A. 電子顕微鏡分析(SEMとTEM)の基礎に関する講義とSEMによる試料観察

6. 核磁気共鳴分光法(NMR): 1 日コース

8月7日(9:30~17:00) 於福岡市産学連携交流センター

講師:(ISIT) 横山拓史, (九大院理) 松森信明

- A. NMR の基礎と溶液 NMR の測定法
- B. 有機物質の構造解析
- C. 固体 NMR と無機化学への応用



使用機器 島津製作所, 日本分光, 日立ハイテックサイエンス, サーマフィッシャーサイエンティフィック (ジェイ・サイエンス西日本), 東ソー, エムエス機器, 大阪ソーダ, 日本ウォーターズ, ジーエルサイエンス, メルク, オルガノの提供による最新機器  
参加費 主催・共催会員 35,000 円, 会員外 45,000 円, 学生 15,000 円

問合せ 〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-39-1 熊本大学 理学部内 第59回分析化学講習会事務局

[E-mail : kyushu\_bunkou@jsac.jp]

実行委員長 戸田 敬

庶務幹事 大平慎一

会計幹事 田中 明

8月7日から10日にかけて, 第59回分析化学講習会が開催されました。会場は, 今回より福岡市産学連携交流センター, 九州大学伊都キャンパス, 九州大学馬出キャンパス, 福岡大学七隈キャンパスの4会場に増えました。これまで, 初日は講義, 2日目・3日目で2コースの実習を選択していただく形式をとっていましたが, 今年は4日間すべて実習で, 講義は必要に応じその中で行う形式となりました。受講者としては, 希望するコースすべての受講が可能で4日間フルに来られた方も多くおられました。また, 1つか2つのコースだけ必要に応じて受講された方もおられ, 多様なニーズに合った講習会になったのかもしれませんが。受講生は60名, 4日間で延べ151名の参加となりました。この数年では最も多くの参加をいただきました。

福岡市産学連携交流センターでは初日にNMR(横山講師 (ISIT), 松森講師 (九大院理)), 3日目にSEM/TEM (宇都宮講師 (九大院理)) の講習が行われました。2コースとも比較的少人数の受講者でしたが, セミナー室による講義と実機を使っての実習により密度の高い講習が行われました。NMRでは未知試料についてスペクトルを測定し, その結果から構造を推定する一連の分析を体験していただきました。SEM/TEMでは, マンツーマンで指導をいただきながら4種類の装置を受講者がひとりずつ操作を行っていただき, 受講者にとってたいへん恵まれた講習でした。

伊都キャンパスでは, 初日と2日目にICP-MS, また2日目にGCの実習が行われました。ICP-MSは2日間とも同じプログラムで, 受講者はどちらか希望する日に受講しました。ICP-MSは天日講師(九環協)に担当していただき, 海水中の重金属について前処理を行ってICP-MSにて分析を行い, 結果を検証する内容でした。誤差が出た場合の考察などを通して微量重金属分析に対する注意点・心構えも身についたと思います。GCは白土講師(熊九大環共), 井倉講師(九大院農)により, 焼酎の香り成分の分析などが行われました。参加希望者が多く少し手狭でしたが, さまざまな試料導入法やGC-MS分析までを体験することができました。

馬出キャンパスではHPLCについて2日間のコースが行われました(3日目, 4日目, 浜瀬講師(九大院薬), 巴山講師(福岡大薬))。46名もの参加者があり, 10のテーマについて, 2日間かけてローテーションで実習が行われました。また, それぞれのテーマで基礎と企業によるデモ・実習とが組み合わされており, さまざまなレベルの受講者にも充実した内容で構成されていました。講習終了後, 修了試験が行われ, 合格者はHPLC分析士初段を取得することができました。

福大七隈キャンパスでは最終日に, 栗崎講師, 市川講師(福岡大理)のもとX線分析の講習が行われました。固体試料の前処理や試料調製, 測定の注意点に関する解説の後, X線回折による結晶解析や蛍光X線分析による粉末試料中各種元素の定量が行われました。

本年度から開催形態を変え, 実行委員会本部はとりまとめや受講の受付・交通整理などに終始し, 実際の運営は各会場で行っていただきました。コースの講師や担当の先生方ならびに企業からご協力いただいたみなさまには当日の負担が増えたかもしれませんが, フットワークよく, かつ充実して講習会を開催することができたと思います。ひとえに関係者みなさまのご協力のたまものと思います。この場をお借りして感謝申し上げたいと思います。また, 講習会に参加していただいた受講生の皆様にもお礼申し上げたいと思います。講習会職場に戻ってから機器分析を駆使したお仕事などでご活躍を期待しています。[戸田 敬]



ICP-MS 講義の様子



GC 実習の様子



SEM/TEM 実習の様子



HPLC 実習の様子



NMR 実習の様子

# 行事案内

## ❖ 日本分析化学会第 67 年会 ❖

期日：2018 年 9 月 12 日（水）～ 14 日（金）

会場：東北大学川内北キャンパス（仙台市）

開催日程：

### 9 月 12 日（水）：

一般講演（口頭，ポスター），若手講演（ポスター），  
依頼講演（口頭），テクノレビュー講演（口頭，ポスター），  
受賞講演，研究懇談会講演，特別シンポジウム，  
ランチョンセミナー，機器展示会

### 9 月 13 日（木）：

一般講演（口頭，ポスター），若手講演（ポスター），  
依頼講演（口頭），テクノレビュー講演（口頭，ポスター），  
受賞講演，研究懇談会講演，特別シンポジウム，  
産業界シンポジウム，学会賞等授賞式，学会賞受賞講演，  
懇親会，ランチョンセミナー，機器展示会

### 9 月 14 日（金）：

一般講演（口頭，ポスター），若手講演（ポスター），  
依頼講演（口頭），テクノレビュー講演（口頭，ポスター），  
受賞講演，研究懇談会講演，特別シンポジウム，  
ランチョンセミナー，機器展示会

参加予約登録最終締切日：8 月 20 日（月）14 時  
ただしクレジット決済のみ、支払方法により締切日  
が異なります。詳細はウェブサイトをご覧ください。  
講演要旨集発行日：8 月 29 日

### 【特別シンポジウム】

日時：9 月 12 日（水）～ 14 日（金）

1. 分析化学研究室生誕 100 年シンポジウム
2. イムノアッセイの新展開
3. 放射能と分析化学 ～挑戦する分析化学～
4. 先端界面評価法と材料設計・応用技術
5. 最先端情報数理解析を用いた、分析化学データからの情報抽出
6. 分子・材料における水の新しい計測技術とその応用展開

詳細は以下のホームページをご覧ください。

<http://conference.wdc->

[jp.com/jsac/nenkai/67/special\\_lecture.html](http://conference.wdc-jp.com/jsac/nenkai/67/special_lecture.html)

【産業界シンポジウム】 AI，MI 時代への期待と課題

日時：9 月 14 日（金）午前

詳細は以下のホームページをご覧ください。

<http://conference.wdc->

[jp.com/jsac/nenkai/67/public\\_sympo.html](http://conference.wdc-jp.com/jsac/nenkai/67/public_sympo.html)

【第 4 回アジア分析科学シンポジウム】

日時：9 月 12 日（水）・13 日（木）

詳細は以下のホームページをご覧ください。

<http://conference.wdc->

[jp.com/jsac/nenkai/67/meeting.html](http://conference.wdc-jp.com/jsac/nenkai/67/meeting.html)

問合先：

日本分析化学会第 67 年会実行委員会事務局

〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3

東北大学大学院理学研究科化学専攻分析化学研究室

総務 佐藤雄介

E-mail：67nenkai@gmail.com

会場アクセス等詳しくは下記ウェブサイトおよび

「ぶんせき」をご覧ください

<http://conference.wdc->

[jp.com/jsac/nenkai/67/index.html](http://conference.wdc-jp.com/jsac/nenkai/67/index.html)

## ❖ 支部招待講演会・見学会 ❖

2018 年支部講演会・見学会は、例年通り幹事会に  
合わせて開催するよう準備をすすめています。特に  
見学会は産業技術総合研究所九州センターの 松田  
直樹 上級主任研究員（製造技術研究部門生物化学プ  
ロセス研究グループ）が中心となり準備を進めてい  
ます。本年度は、11 月 16 日（金）に、サンメッセ  
鳥栖にて支部講演会および産業技術総合研究所九州  
センターにて見学会を開催の予定です。講演会では、  
長崎大学の黒田直敬教授による受賞講演，ならびに  
富士フイルム株式会社社医薬品事業部の 小山田孝嘉  
技術マネージャーによる最新の迅速診断技術につい  
ての講演が行われます。施設見学会では、製造技術  
における検査方法やバイオ分析等を中心とした研究  
開発事例の紹介と見学を予定しています。

～産業技術総合研究所九州センターご紹介～

産 総 研 九 州 セ ン タ ー  
(<https://www.aist.go.jp/kyushu/index.html>)は、昭和39年に通商産業省工業技術院九州工業技術試験所として佐賀県鳥栖市に設置されました。現在、主にエレクトロニクス・製造技術領域に属する製造技術研究部門 (<https://unit.aist.go.jp/am-ri/>) を配置し、産業競争力強化のためのセンシング技術、及びそれによる製造技術の高度化を目指し研究開発を行っています。

また九州における産学官連携のイノベーションハブ機能を果たすとともに、オール産総研体制の窓口として情報発信・情報収集も担っています。



産業技術総合研究所九州センター

## 事務局より

### ❖ Analytical Sciences 誌等への投稿のお願い ❖

国際的に認知された論文誌は、会員と学会にとって重要なだけでなく、我が国の優れた研究成果を発信して世界的なプレゼンスを高めます。Analytical Science 誌は、優れた学術論文・総説を掲載し、併せて国際的な認知度を向上させる取り組みを行って

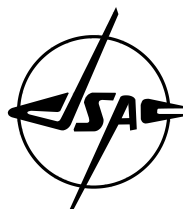
います。例えば、J-STAGE によるオープンアクセス化、メールマガジンなどがあります。毎月各号の“Hot Article”選定と表彰、年間最多引用論文賞—“Most Cited Paper Award of Analytical Sciences”も好評を頂いています。投稿は完全に電子化され、スムーズかつ短期間のうちに成果を公開できます。良い研究論文はぜひ Anal. Sci.誌へご投稿ください。他のジャーナル等に投稿される場合も Anal. Sci.誌の論文を引用頂けましたら幸いです。Anal. Sci.誌の国際プレゼンス向上に、皆様方のご協力をお願いいたします。また、「分析化学」などの他誌も可愛がっていただき、機会があればご投稿ください。

### ❖ 入会を歓迎します ❖

あなたのお近くに日本分析化学会への入会を考えていただけそうな方がいらっしゃいませんか？是非、入会をお誘い下さい。支部の事務局へご連絡頂ければ入会案内をお送りします。また、入会ご検討中の方に対しては、要望すれば機関紙の見本を学会本部からもらせるそうです。日本分析化学会の会員拡充にどうぞ協力下さい。

### ❖ 編集後記 ❖

本年も支部ニュースは年2回の発刊を予定しております。次の39号は2019年2月頃に電子版で配信致します。支部ニュースへのご意見、掲載されたい記事等がございましたらお気軽にご連絡ください。この夏は、猛暑、豪雨、多くの台風に襲われ、近年は異常な気象が常態化しつつあります。地球温暖化は止まりそうにありません。科学にたずさわる者として、どうにかして貢献したいですが、何をすれば良いのでしょうか。暑さで思考は堂々巡りです。残暑の日々が続きますが、どうぞ御自愛の上、お仕事・勉学に励んでください。(副支部長・森)



2018 年度 日本分析化学会九州支部 事務局

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町 1  
佐賀大学工学部 機能物質化学科

支部長	高椋 利幸（佐賀大学工学部） takamut@cc.saga-u.ac.jp / 0952-28-8554
副支部長	森 健（九州大学大学院工学研究院） mori.takeshi.880@m.kyushu-u.ac.jp / 092-802-2849
副支部長	松田 直樹（産業技術総合研究所 九州センター） naoki.matsuda@aist.go.jp / 0942-81-3623
庶務幹事	梅木 辰也（佐賀大学工学部） umecky@cc.saga-u.ac.jp / 0952-28-8555
会計幹事	真瀬田 幹生（佐賀大学総合分析実験センター） St8648@cc.saga-u.ac.jp / 0952-28-8896